

名古屋市港区におけるハナツルボランの記録

中村 肇

名古屋自然史談話会

The record of an alien plant species, *Asphodelus fistulosus* (Xanthorrhoeaceae)
from Minato, Nagoya, Aichi, Japan

Hajime NAKAMURA

Nagoya Natural History Society

Correspondence:

Hajime NAKAMURA E-mail: nakamura@tameike.info

はじめに

ハナツルボラン (*Asphodelus fistulosus*) は、地中海沿岸から西アジアを原産とする一年生または短命な多年生草本である (植村ほか, 2015)。観賞用に導入されたものが稀に逸出し、路傍や荒地などに生え (清水, 2003)、愛知県内においては、豊橋市、半田市、常滑市、知多市、豊明市、大治町で記録がある (愛知県, 2017)。



図1. 名古屋市港区で確認されたハナツルボラン

採集記録

筆者は、愛知県名古屋市港区においてハナツルボランを確認したので報告する (図1)。

なお、本調査で得られた証拠標本は筆者が保管している。

Asphodelus fistulosus L.

ハナツルボラン

愛知県名古屋市港区空見町, 2018.06.15, 中村肇 (1671)

引用文献

- 愛知県. 2017. 愛知県の生物多様性 グリーンデータブックあいち2017-維管束植物編-. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋. 352 pp.
- 清水建美. 2003. ハナツルボラン, 日本の帰化植物, p. 56. 平凡社, 東京.
- 植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹. 2015. ハナツルボラン, 増補改訂日本帰化植物写真図鑑 第2巻, p. 296. 全国農村教育協会, 東京.

